

## 基準 4 学生の受入

### (1) 観点ごとの分析

観点 4-1-①： 教育の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針などの入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、公表、周知されているか。

#### 【観点到係る状況】

本学は産業情報学科、食物栄養学科、社会福祉学科の3学科から構成されているが、本学及び各学科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は平成19年5月に定められた。これを受けて、「大学案内」（別冊資料A P1、3、15、23）、「学生募集要項」（別冊資料D）及びホームページにアドミッション・ポリシーを掲載し公表、周知している（表4-1）。なお、大学案内は6,000部を印刷し、受験生及び各高等学校を中心に配布している。

表4-1 アドミッション・ポリシー

<p>■会津大学短期大学部</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 専門知識を身につける意欲、能力、適性がある人</li> <li>2 幅広い教養と高い倫理観を身につけようと努力する人</li> <li>3 問題解決能力と創造的展開能力を身につけて、社会に貢献しようとする意欲がある人</li> </ol> <p>URL : <a href="http://www.jc.u-aizu.ac.jp/01/ad_p.html">http://www.jc.u-aizu.ac.jp/01/ad_p.html</a></p> <p>■産業情報学科</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を理解し、積極的に学び、卒業研究を完成させる基礎学力と意欲がある人</li> <li>2 情報化社会に適応できる柔軟性とチャレンジ精神がある人</li> <li>3 経営情報コースでは、経営、会計、経済、情報の諸問題に関心を示し、学ぶ意欲がある人</li> <li>4 デザイン情報コースでは、デザイン及び情報を学び、デザイナーを目指す意欲がある人</li> </ol> <p>URL : <a href="http://www.jc.u-aizu.ac.jp/02/md_ad_p.html">http://www.jc.u-aizu.ac.jp/02/md_ad_p.html</a></p> <p>■食物栄養学科</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「食」に興味や好奇心を持ち、「食」を通して人びとの健康に貢献したいと考える人</li> <li>2 食事と健康の科学に関心があり、探求心を失わず積極的に学習する意欲がある人</li> <li>3 豊かなコミュニケーションを築くことができる人</li> </ol> <p>URL : <a href="http://www.jc.u-aizu.ac.jp/02/fn_ad_p.html">http://www.jc.u-aizu.ac.jp/02/fn_ad_p.html</a></p> <p>■社会福祉学科</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会問題を理解する基礎学力があり、自ら学び考える人</li> <li>2 一人ひとりの人間の尊厳と権利を深く理解し、現代社会の抱える諸問題に向き合っていける人</li> <li>3 福祉的専門性と倫理観を身につけて、地域社会において貢献しようとする意欲がある人</li> </ol> <p>URL : <a href="http://www.jc.u-aizu.ac.jp/02/sw_ad_p.html">http://www.jc.u-aizu.ac.jp/02/sw_ad_p.html</a></p>
--

#### 【分析結果とその根拠理由】

本学では、教育の目的に沿って、アドミッション・ポリシーを明確に定めて、公表、周知している。以上のことから、本観点を満たしていると判断する。

観点 4-2-①： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実質的に機能しているか。

【観点に係る状況】

アドミッション・ポリシーに沿って、一般の推薦入学者選考の他に特別推薦（指定校）や資格推薦入学者選考を設けるとともに、一般入学者選抜 I 期は学力試験による選抜と大学入学センター試験の成績を利用した選抜の両方を併願できるなど、多様な入学選抜方法を採用している。例えば、本学の推薦入学における面接では志望動機・学習意欲等とともにアドミッション・ポリシーに関連する内容も質問している（表 4-2）。

また、一般入学者選抜の大学入試センター試験を利用した入試区分では、3科目ないし2科目を課している。短大として3科目を課しているのは、受験科目数として多い方であるが、本学の共通のアドミッション・ポリシー「2. 幅広い教養(中略)を身につけようと努力する人」に該当する資質を見極めるために実施している。

なお、平成 22 年度入学試験及び入学状況は表 4-3 のとおりである。

表 4-2 各学科の面接時の質問の内容とねらい

■産業情報学科

- 1 志望動機
- 2 学習意欲・目的
- 3 コミュニケーション能力
- 4 評価能力（新聞又はポスター等を提示し、それに対する評価能力を問う）
- 5 アドミッション・ポリシーとの適合性

URL : <http://www.jc.u-aizu.ac.jp/05/94.html>

■食物栄養学科

- 1 食物栄養学科を選択した理由、専門（食物と栄養）に対する関心度
- 2 栄養士志望に対する熱意
- 3 卒業後の進路、高校での活動状況等
- 4 本学科で学ぶための気力、体力、能力の有無
- 5 他の学生と協調し合って実験・実習及びゼミ活動を展開できるかどうかについて

URL : <http://www.jc.u-aizu.ac.jp/05/95.html>

■社会福祉学科

- 1 志望動機
- 2 入学後の学習・生活に対する意欲
- 3 将来の進路
- 4 地域や社会の問題に対する関心度合い
- 5 地域社会への貢献に関する意欲

URL : <http://www.jc.u-aizu.ac.jp/05/96.html>

表 4-3 平成 22 年度入学試験及び入学状況

学科	入 試 区 分	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			入学者数			受験率	実質競争倍率	入学率
			男子	女子	計												
産業情報学科	推薦・特別推薦・資格	29	11	46	57	11	46	57	3	28	31	3	28	31	100.0	1.8	100.0
	一般	21	10	34	44	10	34	44	2	16	18	2	16	18	100.0	2.4	100.0
	資格	2	4	12	16	4	12	16	0	2	2	0	2	2	100.0	8.0	100.0
	指定校	6	1	11	12	1	11	12	1	11	12	1	11	12	100.0	1.0	100.0
	一般（Ⅰ期）	26	26	73	99	25	71	96	10	41	51	7	24	31	97.0	1.9	60.8
	学力	21	25	66	91	24	64	88	9	35	44	6	23	29	96.7	2.0	65.9
	センター	5	20	62	82	20	62	82	2	18	20	2	7	9	100.0	4.1	45.0
	一般（Ⅱ期）	5	8	22	30	7	15	22	0	5	5	0	2	2	73.3	4.4	40.0
	高等専修学校等	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	外国人留学生	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	計	60	45	141	186	43	132	175	13	74	87	10	54	64	94.1	2.0	73.6
食物栄養学科	推 薦	20	3	44	47	3	44	47	1	22	23	1	22	23	100.0	2.0	100.0
	一般	18	3	42	45	3	42	45	1	20	21	1	20	21	100.0	2.1	100.0
	指定校	3	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	100.0	1.0	100.0
	一般（Ⅰ期）	20	5	111	116	5	107	112	3	31	34	1	18	19	96.6	3.3	55.9
	学力	16	3	98	101	3	94	97	1	29	30	1	18	19	96.0	3.2	63.3
	センター	4	5	90	95	5	90	95	2	8	10	0	4	4	100.0	9.5	40.0
	一般（Ⅱ期）	-	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-
	高等専修学校等	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	社会人	若干名	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	100.0	-	-
	外国人留学生	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
計	40	8	157	165	8	153	161	4	53	57	2	40	42	97.6	2.8	73.7	
社会福祉学科	推 薦	15	1	25	26	1	25	26	1	14	15	1	14	15	100.0	1.7	100.0
	一般（Ⅰ期）	35	8	87	95	8	78	86	3	52	55	2	35	37	90.5	1.6	67.3
	学力	30	7	79	86	7	70	77	2	50	52	2	35	37	89.5	1.5	71.2
	センター	5	4	72	76	4	71	75	1	7	8	0	3	3	98.7	9.4	37.5
	一般（Ⅱ期）	-	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	-
	高等専修学校等	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	社会人	若干名	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	1	1	100.0	2.0	100.0
	外国人留学生	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
計	50	9	114	123	9	105	114	4	67	71	3	50	53	92.7	1.6	74.6	
合 計	推薦・特別推薦	64	15	115	130	15	115	130	5	64	69	5	64	69	100.0	1.9	100.0
	一般	54	14	101	115	14	101	115	4	50	54	4	50	54	100.0	2.1	100.0
	資格	2	4	12	16	4	12	16	0	2	2	0	2	2	100.0	8.0	100.0
	指定校	9	1	13	14	1	13	14	1	13	14	1	13	14	100.0	1.0	100.0
	一般（Ⅰ期）	81	39	271	310	38	256	294	16	124	140	10	77	87	94.8	2.1	62.1
	学力	67	35	243	278	34	228	262	12	114	126	9	76	85	94.2	2.1	67.5
	センター	14	29	224	253	29	223	252	5	33	38	2	14	16	99.6	6.6	42.1
	一般（Ⅱ期）	5	8	22	30	7	15	22	0	5	5	0	2	2	73.3	4.4	40.0
	高等専修学校等	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	社会人	若干名	0	4	4	0	4	4	0	1	1	0	1	1	100.0	4.0	100.0
	外国人留学生	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	計	150	62	412	474	60	390	450	21	194	215	15	144	159	94.9	2.1	74.0

【分析結果とその根拠理由】

アドミッション・ポリシーに沿って、各学科では多様な入学選抜方法を採用し、適切な学生の受入れが確実に実施されているので、アドミッション・ポリシーは実質的に機能している。以上のことから、本観点を満たしていると判断する。

観点 4-2-②： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）において、留学生、社会人の受入等に関する基本方針を示している場合には、これに応じた適切な対応が講じられているか。

該当なし

観点 4-2-③： 実際の入学者選抜が適切な実施体制により、公正に実施されているか。

【観点到に係る状況】

教授会の下に設置された入学試験委員会（表 4-4）において、入試に関わる企画、入学試験実施体制組織の編成、入試問題の作成、採点及び成績の管理等を行っている。入試当日は全学の教職員の参加によって業務を実施している。一般入試の出題と採点に関しては、入試問題出題委員会が中心となって、問題作成と点検を行い、出題ミス等の防止に努めている。また、試験当日は、入試委員と出題委員が試験本部に待機して、受験生からの質問に対応できる体制をとっている。合格者の決定は、学科会議での検討を経てから各学科長が教授会に合格候補者を提案し、その提案を教授会で審議している。

入学者選抜の透明性を確保するため、選抜試験の基本データ（募集人員、志願者、受験者、合格数、合格者の最高点、最低点、平均点、センター試験平均点）を公開しているほか、受験生本人からの請求があった場合は本人の得点や順位も情報開示している。

なお、試験ごとに実施要項、監督要領、当日スケジュール等が整備されている（別冊資料 E 入学者選抜試験実施内容）。

表 4-4 会津大学短期大学部入学試験委員会規程（抜粋）

（構成）

第 2 条 入学試験委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- 一 学生部長
- 二 産業情報学科から選出された教員 2 名
- 三 その他の学科から選出された教員各 1 名

（所管事項）

第 5 条 入試委員会は、次の各号に掲げる事項を所管する。

- 一 入学者選考の基本方針及び年次計画に関すること。
- 二 学生、科目等履修生及び研究生の募集に関すること。
- 三 入学試験の出題、採点、監督、面接及び調査書に関すること。
- 四 出題者、採点者、監督者、面接者及び調査書審査者の推薦に関すること。
- 五 入学試験問題の印刷及び校正に関すること。
- 六 合否判定資料の作成に関すること。
- 七 入学試験問題用紙の運搬及び保管に関すること。
- 八 試験終了後の答案の保存及び処分に関すること。
- 九 大学説明会に関すること。
- 十 入学資格の個別審査に関すること。
- 十一 大学入試センター試験に関すること。
- 十二 入学試験結果の分析に関すること。
- 十三 その他入学者選考の実施及び運営に関すること。

#### 【分析結果とその根拠理由】

教授会の下に設置された入学試験委員会において入試の企画・準備等を行い、入試当日は全学の教職員によって実施される。合格者の決定は、学科会議での検討を経てから各学科長が教授会に提案し、その提案を教授会で審議して決定している。以上のことから、本観点を満たしていると判断する。

**観点 4-2-④： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。**

#### 【観点到係る状況】

毎年「在学生による本学評価」アンケートを実施しており、その中で「本学に入学した目的」（表 4-5）や「本学入学目的に対する現時点での達成度」（後出図 6-3）などについても尋ね、アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が機能したかどうかの検討資料としている（資料 4-2-4-A 入学試験委員会報告書、別冊資料 C 自己点検・評価報告書 P172～192 「在学生による本学評価」）。

また、毎年入学試験実施後に、その年度の結果を各学科で検証し、入学試験委員会で全学的に検討し、次年度以降の入学試験の改善に役立っている。

表 4-5 入学目的（平成 21 年度在学生による本学評価集計結果より抜粋）

項目 I 本学に入學した目的	1 年生	2 年生
(1) 将来の職業に役立つ資格を取得するため	4.4	4.1
(3) 専門分野の学問を体系的に習得するため	4.6	4.5
(4) 自分の学力の向上をめざすため	4.3	4.3
(5) 広く教養を身につけ総合的能力を向上させるため	4.1	4.2
(6) サークル活動や社会活動を通じて人間性を養うため	3.7	3.7

※ 数値は 5 点満点評価の平均値

#### 【分析結果とその根拠理由】

「在学生による本学評価」アンケートでは、本学に入學した目的は、サークル活動のような学生生活の充実よりも、専門知識の習得等を中心とした学業面への高い目的意識があると認められ、アドミッション・ポリシーに沿っている。また、入学試験委員会の所管事項には「入学試験結果の分析」もあり、各学科での検証と合わせ、全学的に検討する体制ができています。以上のことから、本観点を満たしていると判断する。

**観点 4-3-①： 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。**

#### 【観点到に係る状況】

本学は入学定員 150 名（産業情報学科 60 名、食物栄養学科 40 名、社会福祉学科 50 名）である。平成 18 年度から平成 22 年度までの 5 年間の入学定員に対する実入学者数の割合は 106%（平成 22 年度）から 112%（平成 20 年度）である。現在までのところ実入学者数が入学定員を下回った年度はない。また逆に、実入学者数が入学定員を 20% 超えた年度もない（表 4-6）。

本学では入学試験委員会を中心として、絶えず入学者選抜方法の検討・見直しを行ってきた。大学入試センター試験は平成 16 年入試から短期大学でも利用できることになり、本学でも平成 16 年度から一般入試で利用しており、入学者の確保に努めている。また、平成 21 年度においては教員が福島県内 66 校、岩手県、宮城県、山形県及び新潟県の計 50 校を訪問するとともに（資料 4-3-1-A 平成 21 年度高校訪問実績一覧）、県内を始めそれら各県の進学説明会に教職員が協力して参加している（資料 4-3-1-B 平成 21 年度進学説明会一覧）。

表 4-6 実入学者数及び定員に対する実入学者割合

学科名	定員	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
産業情報学科	60 名	63 名 [105%]	65 名 [108%]	75 名 [125%]	67 名 [112%]	64 名 [107%]
食物栄養学科	40 名	47 名 [118%]	45 名 [113%]	42 名 [105%]	42 名 [105%]	42 名 [105%]
社会福祉学科	50 名	53 名 [106%]	52 名 [104%]	51 名 [102%]	53 名 [106%]	53 名 [106%]
合計	150 名	163 名 [109%]	162 名 [108%]	168 名 [112%]	162 名 [108%]	159 名 [106%]

**【分析結果とその根拠理由】**

本学では入学試験委員会を中心に毎年志願者状況についての議論を踏まえた取組みを行うことによって、実入学者が入学定員を大幅に超える、又は下回る状況になっていない。以上のことから、本観点を満たしていると判断する。

**(2) 優れた点及び改善を要する点**

**【優れた点】**

本学では教職員が協力して学生募集活動を行い、入学者選抜は適切かつ公正に行われている。現在までのところ、一定の志願者倍率が維持されており、実入学者が入学定員を大幅に超える、又は下回った年度はない。

**【改善を要する点】**

全学及び全学科のアドミッション・ポリシーを定め公表周知したのが、平成19年5月である。今後も様々な方法でアドミッション・ポリシーの一層の周知徹底を図っていく必要がある。

**(3) 基準4の自己評価の概要**

- ・本学では教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針が記載されたアドミッション・ポリシーを定め、大学案内、学生募集要項及びホームページに掲載するなど、広報活動を行っている。(観点4-1-①)
- ・入学者選抜において、アドミッション・ポリシーに沿って多様な入学者選抜方法を採用し、本学の学生受入れは適正かつ公正に行っている。(観点4-2-①、4-2-③)
- ・毎年入学試験実施後に、その年度の結果を各学科で検証し、入学試験委員会で全学的に検討し、次年度以降の入学試験の改善に役立っている。(観点4-2-④)
- ・定員に対し一定の志願倍率を維持しており、入学定員を大幅に超えたり下回ったりすることはなかった。このことは、入学試験委員会を中心として、絶えず入学者選抜方法の検討・見直しを繰り返し、学生募集活動も継続的に行ってきたためである。(観点4-3-①)